ALPINE
Mobile Media Solutions

Corporate Profile
CSR Report
2010 / 2011

Corporate Profile
CSR Report
2010 / 2011

アルパインは、コーポレートビジョンとして「モービルメディアの未来価値の創造」を掲げて、
クルマ社会の発展への貢献を目指して、様々な活動に取り組んでいます。
この冊子は、そうした取り組みをよりわかりやすく理解していただくために作成しました。
会社紹介であるCorporate ProfileとCSR（企業の社会的責任）活動を報告する
CSR Reportをひとつにすることにより、
アルパインが事業活動を通じて、人や地球環境とどのように関わっていこうとしているかを、
よりわかりやすく把握していただけるようにしています。
また、アルパインの根幹をなす価値観を、ステークホルダーの皆さまとともに、
さらに力強く具現化していきたいという想いから、
「アルパイン企業理念」に沿った形の編集といたしました。
読者の皆様に、よりアルパインのことを知っていただく媒体となればと願っております。

アルパイン企業理念

アルパインは 、人々の心を大切にし、仕事の質を高め、
活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

1「個性の尊重」
アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、
人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2「価値の創造」
アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、
人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3「社会への貢献」
アルパインは品位ある商品の提供を通じ、
明日の豊かな社会作りに貢献します。

Contents

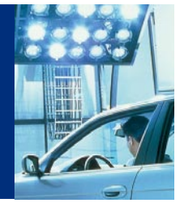
トップメッセージ →04

事業紹介 →06
車載音響機器事業 …… 06
車載情報通信機器事業 …… 07

アルパイングループ →08

アルパインの経営 →10
アルパインの経営とCSR …… 11
コーポレートガバナンス/コンプライアンス …… 12
グローバルCSRマネジメント/リスクマネジメント …… 13

個性の尊重 →14
アルパインのDNA …… 15
人を尊び、人を育む …… 16
人を支え、人を活かす …… 17


価値の創造 →18
アルパイン・ブランド …… 19
研究開発活動 …… 20
マーケティング活動 …… 21
お客様のために …… 22
株主・投資家/お取引先のために …… 23

社会への貢献 →24
環境にやさしい製品開発 …… 25
環境にやさしい事業運営 …… 27
環境にやさしい事業所 …… 28
地域の一員として …… 30

会社DATA →31

C S R 情報について

- 対象範囲
  - ・対象範囲：連結28社
  - ・対象期間：2009年4月1日～2010年3月31日
- 参考としているガイドライン
  - ・環境省「環境報告書ガイドライン（2007年度版）」
  - ・GRI「サスティナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」
- ホームページ掲載について
  本報告書の情報は、Webサイトでも掲載しています。
  Webサイト CSR/環境：http://www.alpine.com/j/csr/
- 関連するレポート
  「アニュアル・レポート」にて、詳しい財務情報を開示しています。
- 次回発行予定
  2011年6月を予定しています。

アルパインの事業、CSRに関する情報は、
本冊子とWebでご紹介しています。

（注意）本冊子には、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これら計画・見通し・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が記述内容とは異なったものとなる可能性があります。

持続的なモビリティ社会の実現に向けて

代表取締役会長
石黒征三

代表取締役社長
宇治美徹

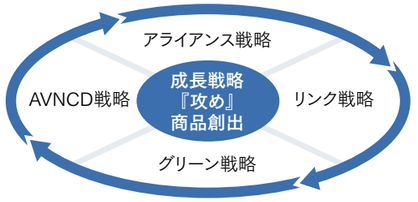
経済情勢・アルパインの施策

2008年9月に起きたリーマンブラザース破綻以降の実体経済の収縮と自動車市場の激変は、当初の予想の範囲をはるかに超える規模・スピードでありました。数年前まで世界最大規模であったGMの破綻は一昔前では考えられないことでした。アルパインの主力事業である自動車メーカー向けの受注は低迷が続き、2009年度は、ピーク時と比較して4割近く事業規模が縮小し、企業の経営においても大変厳しい1年間となりました。

2009年の後半から、一部で回復の兆しが見えましたが、この環境を全社一丸となって乗り越えるため、コスト削減・意識改革施策である「CHALLENGE30+」をさらに推し進め、損益分岐点の引き下げをはじめ、厳しい環境下でも利益を上げられるための体質強化を進めて参りました。私達はこの体質強化を継続すると同時に、2010年度をさらなる成長に向けた、攻めに転じる節目の年として位置づけています。

次の成長に向けて

自動車産業を見ると、環境問題、原油価格の高騰から、100年続いた内燃機関が電気モーターとハイブリッド化、あるいはプラグインハイブリッド、電気自動車等へと変化が顕在化してきました。中国・インドなどの新興国ではモータリゼーションの発展期に入り、中国は世界最大の自動車市場へと変貌を遂げました。そこでは自動車のスモールシフト・低価格化が大きな流れとして表面化し、全体で大きな構造変化が起きています。



この変化に対し、アルパインは次の成長に向けて、以下の4つの基本戦略を掲げ取り組んでいます。事業ドメインであるAVNCD(※1)をひとつのシステム・最適なコストで提供する「AVNCD戦略」。最先端をゆく国内外のパートナー企業との提携によりビジネス・技術ソリューションを提供する「アライアンス戦略」。スマートフォンをはじめとする情報端末機器と車載機器とを接続し機能融合により制約の多い車の中でも使い易いシステムソリューションを提供する「リンク戦略」。そして環境問題に対応し、エコカーに求められる軽量化、省電力化を追及した「グリーン戦略」。これらの戦略を全社一丸となり進めています。

また、成長著しい中国をはじめとした新興国市場において、積極的な事業拡大を進めます。私達が他社に先駆けて中国国内に確立した販売・生産・開発の一貫体制をフルに活用しながら、従来のお客様だけでなく、現地自動車メーカーとのビジネス拡大、そして市場における自社のブランドポジショニングの確立を強力に推進して参ります。

持続的な企業としてあり続けるために

アルパインが企業ビジョンに掲げている「Driving Mobile Media Solutionsモービルメディアの未来価値へ」に相応しい、時代をリードする価値を提供し続ける魅力的な企業であり続けたいと考えております。ドライビングシーンにおける安全、安心、快適を車載機器を通じて創出し続けることに全力を挙げています。

私達は自分達だけでそのことが実現できるとは考えていません。お客様、取引先、株主、地域社会、従業員のステークホルダーの皆様との関係を深めながら、皆様に喜ばれる商品・新しい価値を提供し成長し続けることが持続的な企業としてあり続ける、たったひとつの方法だと考えております。

私達は、企業が永続していく為に普遍の価値である「個性の尊重」「価値の創造」「社会への貢献」を企業理念として定めています。同時に事業を通じてこの企業理念を具現化していくことが企業の社会的な責任を果たすことであると考えています。そのことから、私達のCorporate Profile（会社案内）とCSR Reportをひとつにまとめてご紹介させていただいています。個々の活動においては充分な取り組みとは言えない面もあろうかと思いますが、私達の現状の取り組みにお目通しいただき、忌憚のないご意見を頂戴できましたら、と願っております。今後とも皆様の温かなご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

2010年6月

Driving Mobile Media Solutions™
モービルメディアの未来価値へ

※1　オーディオ（A）、ビジュアル（V）、ナビゲーション（N）、車内外ネットワークを活用し情報提供するコミュニケーション（C）、ドライバーへの運転支援であるドライブアシスト（D）

車載音響機器事業

一切の妥協を許さない「いい音」へのこだわりで、
モービルメディアサウンドの頂点を目指し続けます。

アルパインは、「いい音」こそがより大きな感動を生むという理念のもと、車載機器専業メーカーとして長年蓄積してきたノウハウと技術により、つねに世界初の技術を搭載した製品を世に出し、車社会の発展を目指してまいりました。

米国市販市場においては、業界に先駆けてiPhone® 向けアプリケーションで圧倒的な人気を誇るインターネットラジオ「Pandora※」に対応したヘッドユニット「iDA-X305S」を発売いたしました。iDA-X305Sは革新的な技術を搭載した商品に贈られる2010年度のCESイノベーションアワードを受賞しています。

また当社の品質への取り組みが高く評価され、主要顧客からは「優良品質賞」を受賞するなど、創業以来一貫して続く、品質向上のための取り組みと音質の追求、全ては理想の車室内サウンドシステムの創造のためにあります。

※「Pandora」とは、アーティストの名前や曲名から自分専用の放送局を設定できるインターネットラジオで、お気に入りの曲やアーティストの名前を入力するとユーザーの音楽の好みを分析し、その曲と同様の特徴や傾向をもった楽曲を無料で配信サービスする、アメリカで多数のユーザーを持つアプリケーションです。

Products

デジタルメディア・ヘッドユニット
iDA-X305S
iPhone 3GやiPod touchなど最新iPod®に対応したヘッドユニット

セパレート2ウェイスピーカー
DDL-RT17S
クリアでダイナミックなヴォーカル再生とナチュラルなバランスを高次元で実現した高性能スピーカー

デジタルパワーアンプ
PDX-M6
コンパクトデザインで圧倒的なサウンドクオリティを実現したデジタルアンプ

車載情報通信機器事業

音・映像・ナビゲーション・情報通信からドライブアシストまで。
快適さや感動の世界を広げます。

ナビゲーション、ビジュアル、通信機能、さらにはドライブアシスト（安全運転支援システム）まで、ユーザーニーズの多様化とともに車室内システムは大きな広がりを見せています。

アルパインがわずか30年で、世界の主要自動車メーカーから支持されるブランドに成長したのは、まだ誰も見たことの無い製品を世に送り出すことに加えて、各分野の最先端技術との機能融合を図るシステムインテグレーターとして付加価値を提供し続けてきたからに他なりません。

国内市場には、市販品として世界最大画面となるカーナビゲーション「VIE-X088」を発売、ファーストワン＝業界初・世界初となる製品を提供するとともに、EV・PHV※普及に向けた国家プロジェクトにおいては、情報の送受信が可能な当社のITS※車載機が採用されるなど、ITSにも対応した先進技術開発にも注力しております。

また、死角になりやすい場所も360度映像で1画面に映し出す「TOPVIEW® マルチカメラ」を始め様々な先進機能でお客様の安心・安全なドライブをサポートするなど、未来のクルマ社会に向けた価値創出に努めてまいります。

※EV・PHV：Electric Vehicle・Plug in Hybrid Vehicle
※ITS：Intelligent Transport Systems

Products

HDDカーナビゲーション
VIE-X088
視認性・操作性が飛躍的に向上した大画面カーナビゲーション

TOPVIEW®
マルチカメラHCE-C500
市販初360度鳥瞰図の映像を表示する最先進カメラシステム

次世代ITS車載機器
DSRC路側機との通信により、情報の送受信が可能となる次世代のカーナビゲーション

グローバルSMD体制で、世界の市場に展開。

アルパインは、販売（Sales）、生産(Manufacturing)、開発（Development）拠点の
グローバル体制（日本・北米・欧州・アジア）を確立。
Design in Market•Made in Marketの基本思想のもと、
全世界の主要自動車メーカー及び市販市場に対応しています。

North America

HSD アルパイン・アメリカ
（L.A.）

M アルコム・メキシコ

SD アルパイン・アメリカ
（デトロイト）

HS アルパイン・ヨーロッパ
（ミュンヘン）

SD アルパイン・U.K.

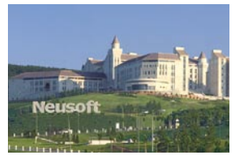
SD アルパイン・ドイツ
（シュトゥットガルト）

M アルパイン・マニュファクチャリング・
ヨーロッパ（ハンガリー）

Europe

Asia

HS アルパイン中国
（北京）



D 東軟集団股份有限公司

D 大連開発センター

M 大連アルパイン

S アルパイン・インド

HS アルパイン・アジア・パシフィック

M アルパイン・テクノロジー・
マニュファクチャリング・タイ

Japan

HSD アルパイン本社

M アルパイン・マニュファクチャリング

M 太倉アルパイン

海外現地法人・合弁会社

北米・南米
- アルパイン・アメリカ
- アルパイン・リサーチ・アメリカ
- アルパイン・カナダ
- アルコム・メキシコ
- アルパイン・ブラジル

欧州
- アルパイン・ヨーロッパ
- アルパイン・リサーチ・ヨーロッパ
- アルパイン・ドイツ
- アルパイン・U.K.
- アルパイン・フランス
- アルパイン・イタリア
- アルパイン・スペイン
- アルパイン・マニュファクチャリング・ヨーロッパ

アジア・オセアニア
- アルパイン中国（北京）
- アルパイン中国（大連開発センター）
- 大連アルパイン
- 太倉アルパイン
- アルパイン香港
- アルパイン・アジア・パシフィック
- アルパイン・インド
- アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ
- アルパイン・オーストラリア
- 東軟集団股份有限公司

国内子会社・関連会社

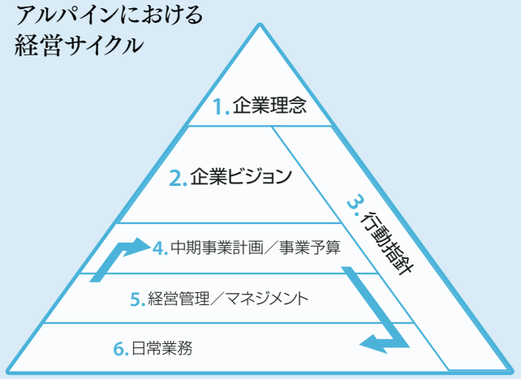
- アルパインマーケティング株式会社
- アルパインマニュファクチャリング株式会社
- アルパインプレシジョン株式会社
- アルパインテクノ株式会社
- アルパイン技研株式会社
- アルパインカスタマーズサービス株式会社
- アルパイン情報システム株式会社
- アルパインビジネスサービス株式会社
- アルパイン京都販売株式会社
- アルパイン兵庫販売株式会社
- 東芝アルパイン・オートモティブテクノロジー株式会社

H 統括拠点（Headquarters）
S 販売拠点（Sales Base）
M 生産拠点（Manufacturing Base）
D 開発拠点（Development Base）

確かな経営サイクルを基盤に、企業理念を具現化します。

アルパインは、企業理念の実現を追求していくための
経営サイクルをベースに日々の活動を行っています。
目指すべき方向（企業ビジョン）や
達成すべき事業目標を従業員全員で共有し、
着実な前進をはかっています。

アルパインにおける経営サイクル



アルパインの経営とCSR

アルパインのCSRは「企業理念を具現化するための経営活動そのもの」です。

―厳しい経営環境下でこそ、社会的責任に対する自覚と行動を―

CSR委員長 経営企画・管理担当取締役 **相馬 聡**

環境に対する取り組みや、提供する製品・サービスに対して企業が社会から求められる責任は年々、その重要度が増しています。北米における自動車メーカーのリコールとその対応は大きなニュースとなり、その企業全体の評価にも大きな影響を与えました。大切なことは私達が社会に対して自発的に何をするかであると考えます。

さて、我々を取り巻く環境は、グローバル化、環境問題、消費者の価値観の多様化の中で大きく変わろうとしています。中でも、価値観の多様化に対しては提供する製品・サービスの品質においても企業の倫理観や取り組み姿勢を企業活動全体の視点で捉えていかなければなりません。また、自動車業界においてはこの2年間の世界の動きで、私達がかつて想像しえなかった変化をもたらし、産業自体の構造改革をもたらしました。

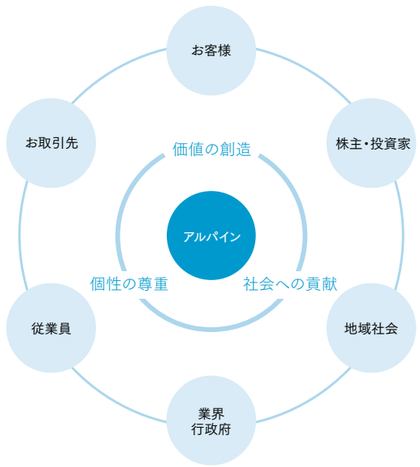
そして、私達が成長していくためには、お客様、株主/投資家、お取引先、従業員、地域社会など様々なステークホルダー（利害関係者）の皆様の期待や要望にお応えし、相互理解を深めていくために、私達が皆様に対して説明責任を果たすことが重要と考えます。

アルパインではCSRは「企業理念を具現化するための経営活動そのもの」としています。そして、我々の企業理念は①個性の尊重　②価値の創造　③社会への貢献という三つの理念から構成されています。つまり、アルパインの経営活動をご理解いただくことが私達の社会に対する責任への取り組みをご理解いただくことであると考えております。

従業員一人ひとりが、多様な個性を発揮して、お客様に価値のある製品・サービスを提供し続けていくことで私達を取り巻く社会へ貢献できるものと信じております。そして、一人ひとりの従業員に「企業が及ぼす社会への影響力、貢献」を理解してもらい、「『社会的責任』に対する自覚と倫理観をしっかりともってもらいたい」と強く願っています。なぜなら、経営陣含む従業員の意識の総和が企業の社会的責任（CSR）の水準を決定するからです。

世界が大きな変化に直面している今こそ、体質強化とともに企業による社会貢献としての行動が問われています。アルパインは企業理念を追求していくことでCSR活動の更なる深耕に努めて参ります。今後とも一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ アルパインとステークホルダー



コーポレートガバナンス/コンプライアンス

アルパインは、経営の健全性・透明性を高め、法令を遵守し、公正な事業活動を行うことが、
株主、お客様、地域社会に対する最も基本的な責務であると考え、
コーポレートガバナンスおよびコンプライアンス体制の強化に取り組んでいます。

ガバナンス体制

会社機関として監査役設置会社を採用し、経営上の意思決定・職務執行の監視・監督機関として取締役会を、監査機関として監査役会を設置しています。

取締役会は、毎月1回定例開催し、経営の重要事項の審議・決議を行っています。また、取締役を本社の機能別に設置し、執行責任の所在を明確にすることで、適正かつ効率的に職務執行が行われる体制をとっています。

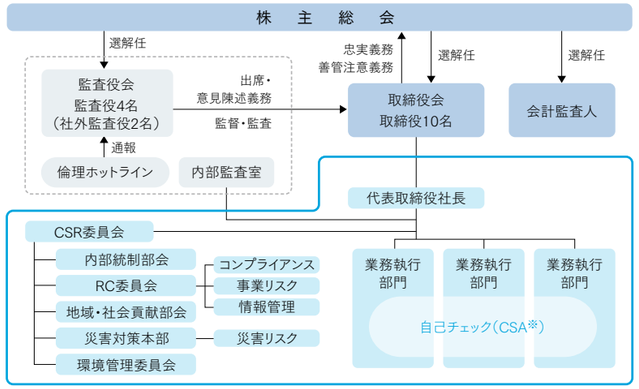
監査役会は、監査に関する重要事項の報告を受け、協議・決定を行っています。監査役には、当社の業務に精通した者の他、親会社の監査役および公認会計士ならびに弁護士を選任し、経営面に加え会計面・法務面等から監査を実施しています。このように経営監視機能として十分に機能する体制を確保しています。

内部統制システム

アルパインでは、内部統制システムの構築について、法的な対応のみならず、業務の効率性、有効性の向上、改善活動の継続による企業価値増大の機会と捉えて、積極的に取り組んでいます。

2009年度は、内部統制評価の2年目として持続的な内部統制体制確立のため、自己チェック体制の強化を進めました。2010年度以降は更なる企業体質の強化にむけた、内部統制システムの改善活動を推進します。

■ コーポレートガバナンス体制図（2010年6月現在）



※Control Self Assessment

コンプライアンス体制

●社内通報制度

日本・米国・中国において、全従業員および協力会社社員から倫理問題や反社会的行為などの相談を受け付ける「倫理ホットライン」を設置しています。相談により不利益を被ることがないよう社内規定で保証しております。気軽に相談しやすい開かれた相談窓口として、問題の早期発見と迅速な対応に努めております。

●倫理指針の制定（「アルパインの十戒」）

アルパインでは、企業倫理や法令遵守の観点から、従業員一人ひとりが日常心掛けるべき基本的な遵守事項を、「倫理指針（アルパインの十戒）」として定め、世界中の拠点で周知徹底を図っています。

■ アルパイン倫理指針（アルパインの十戒）

人	個人情報	個人情報を漏洩しない
	差別の禁止	暴力・暴言・性的嫌がらせ・不当な差別を行わない
物	製品の安全	製品の安全性・品質に十分配慮する
	環境への配慮	環境に十分配慮する
財産	会社財産	会社の財産を私的に使用しない
	知的財産権	他社の知的財産を侵害しない
情報	企業秘密	企業秘密の漏洩や私的利用をしない
	インサイダー取引の禁止	会社情報の公表前に当社の株式取引しない
取引	公正な取引の推進	独占禁止法など法令・ルールを遵守する
	贈与と接待	常識の範囲を超えて取引先から贈物・接待を受けない

Voice
推進者の声

～コンプライアンス意識の強化を目指して～

企業の貴重な資産である情報の管理は、企業の社会的責任においてますます重要な経営課題になってきます。
アルパインおよびお客様の情報資産を保護し漏洩を防止するために、中国情報安全委員会の組織体制を構築し定期的に従業員向けに情報セキュリティの教育及び監査を展開しました。

アルパイン電子（中国）有限公司
大連開発センター 法務
孫 瑛

グローバルCSRマネジメント/リスクマネジメント

アルパインでは、国内外のグループすべてが、
事業の信頼性、継続性を確保していくための施策を着実に進めています。

グローバルCSRガイドラインの策定

お客様からの各種CSRガイドライン準拠要請に備えながら、CSR活動の体系化・連携を図る取り組みとして、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）発行のCSRガイドラインをベースに作成した「アルパイン　グローバルCSRガイドライン」を、国内外グループ各社に展開・運用しております。今後も、年1回の調査を継続し、情報の共有化・CSR水準の向上を図って参ります。

リスクマネジメントの取り組み

●情報セキュリティ対策の強化

不正アクセス、コンピュータウイルス、情報漏洩といった情報セキュリティリスクから会社を守るため、技術的な対策だけでなく、従業員や管理者向けの情報セキュリティ教育に力をいれています。

●事業継続計画BCPへの取り組み

大規模な地震や火災が頻発する中、災害などにより事業継続に影響を及ぼす緊急事態が生じた場合でも、従業員とその家族の安全を確保するとともに、お客様への影響を最小限にとどめるため、事業継続計画（Business Continuity Plan）の策定に取り組んでいます。如何なる緊急事態にあってもお客様に安定して製品をお届けすべく、実効性ある計画を策定し、初動体制および復旧体制の確立に努めています。

災害リスクマネジメント

事業活動における様々なリスクを想定し、被害・損害の極小化に取り組むため、「災害対策本部」を常設し、

- グローバル安全総点検（年2回）
- リスクアセスメント
- グローバル危機管理ネットワーク整備
- 総合防災訓練

などを実施、グローバル予防体制を整備しています。

災害対策本部の一環として、労働衛生環境の整備・改善を行う「安全衛生委員会」、地震・火災等緊急時の初動対応を行う「自衛消防隊」を組織し、安全衛生点検や消火・応急救護・避難誘導等の訓練を定期的に実施しています。

防災訓練の様子

Column

新型インフルエンザ封じ込め取り組み

2009年度春には、世界が騒然としたメキシコ新型インフルエンザが発生、秋から冬にかけては日本でも大流行しました。

メキシコ工場においては対策本部が設置され、連日の情報収集と社員/外部人員入構時の健康チェックを実施し、万全の体制をとる一方、日本側対策本部との連絡もほぼ連日継続しました。関係者の努力のおかげで、お客様へ届ける製品納期に影響を与えることなく、沈静化に至りました。

日本では秋から冬にかけて、各地で集団発生し、学校の閉鎖などが起きました。アルパインでは、予防資材の斡旋をはじめ、入構時のアルコール消毒を徹底し、構内エリア別の罹患者数の把握と情報公開を継続し、大量の感染なしに、流行期を乗り越えることができました。企業として、未知のウイルスにどう挑むかの有効な実践例とし、将来に備えていきます。

個性の尊重

アルパインは社員一人一人の
誇りと情熱を大切にし、
人を育て、人を活かし、
相互信頼の絆を築きます。

行動指針

創造・情熱・挑戦

Creation, Passion, Challenge

私たちは、
新たな価値の創造・ものづくりに
情熱を持って果敢に挑戦しつづけます。

アルパインのDNA

「新たな世界を描く創造力」「夢の実現をあきらめない情熱」
「高いハードルと向き合う挑戦の心」
DNAを引き継いだ多彩な人材こそが、アルパイン製品の独創性の源です。

1975年

「アルパイン」ブランドで、高級カセットデッキを輸出開始。車室内で最高の音響体験を目指す挑戦がスタートしました。

1981年

世界初の「ジャイロケーター」を本田技研工業(株)と共同開発。カーナビの原型ともいえる製品にいち早く取り組みました。

1989年

CD6枚収納で車室内設置可能な、CDシャトル5952が大ヒット。より快適に便利にCDを楽しめる製品を実現しました。

1991年

世界初3Dシャトル5980、AVシャトル2913発売。可動モニターを省スペースに設計した独自性で大いに注目されました。

1996年

カーナビゲーションシステムNVE-N055Vがカー用品大賞受賞。正確な検索、ルート案内で高い評価を獲得しました。

2000年

フラッグシップモデル「Alpine F#1 Status」発売。自社のテクノロジーの粋を集めて、世界最高の車室内音響・映像体験の創造に挑戦しています。

2005年

iPodを高音質再生するﾍｯﾄﾞﾕﾆｯﾄCDA-9855Ji発売。「用品大賞2005」大賞受賞。最新のデジタルオーディオをいちはやく車室内で楽しめるようにしました。

2008年

車室天井にジャストフィットする、リアビジョン発売。リアシートで高品位な映像を楽しみたいというニーズの高まりに対応しました。

2009年

「X08プレミアム」とお客様のクルマに最適な取付けを提案する「パーフェクトフィットシリーズ」を発売。音質や画質をお客様の車種専用にフィッティングさせる初のソリューションを開始しました。

人を尊び、人を育む

アルパインは、従業員のモチベーション向上や能力の開発に、
様々な社内制度やイベントを通じて、取り組んでいます。

社員の誇りと情熱

アルパインは、働きがいのある職場作りを目指し、従業員一人ひとりが向上心を持って、より高い目標にチャレンジできるよう「目標管理制度」を導入しています。また、「公正な評価・処遇」を重視し、一人ひとりに結果のフィードバックと能力開発・成長を促すとともに、功績の著しい従業員には、毎年行われる創立記念式典にて表彰を行っています。

特許創出に貢献した従業員の表彰風景

従業員との相互信頼

アルパインでは、従業員が組織する労働委員会と会社側とで定期的に連絡会を行い、お互いの理解を深めながら、課題の共有と解決に取り組んでいます。また、定期的に「総合意識調査」を実施し、従業員の意見や要望を吸い上げ、一人ひとりが生き生きと働ける職場づくりに努めています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

社員が最大限の能力を発揮するには、充実した家庭生活や余暇を過ごすことが必要であると考え、定時退社日の導入や年次有給休暇の取得促進制度、社員がそれぞれの目的に合わせて活用できる多目的特別休暇制度等を設けています。社内報における社員の趣味紹介や家族参加型イベントの開催など、自己啓発・余暇充実支援を積極的に行っています。

■ 多目的特別休暇の取得状況推移
（アルパイン単独）

	2007年度	2008年度	2009年度
取得日数	952日	888日	1098日
取得人数	124人	128人	167人
全社員における取得者の割合	9.2%	10.6%	12.2%

家族参加イベント
「ペットボトルロケットを空高く飛ばそう!」

Column

人を育てる 新入社員教育

アルパインの新入社員教育は、その一部を中国にて実施しています。この研修は、新入社員にとって、ビジネスの基礎だけでなく、異なる文化や価値観に対する視野拡大が重要との考えに基づき、日本・中国それぞれの対象者を一同に集めて行います。研修の中心は、相互に異なる文化、考え方に直接触れながら、インターネットショップ立上げのビジネスモデルを構築していくものです。開始時にはもどかしさを伴うやり取りですが、一ヶ月間、異文化の中で理解し、理解される訓練を重ねます。実体験を通じ、異文化理解を肌で感じる機会を提供しています。

それぞれのメンバーは、将来一緒に仕事をすることと再会を約束し、帰国後、新しい職場へ正式配属されました。

中国での新入社員合同研修

人を支え、人を活かす

アルパインは、仕事においてもプライベートにおいても、健やかで、
満足のできる生活をおくることができるよう、様々な支援を行っています。

子育て支援

アルパインでは、出産・育児と仕事の両立がしやすい環境整備を進めています。子女が満1歳に達するまでの期間について休職できる育児休職制度の他、妊娠中の女性や小学校4年未満の子女を養育する社員が選択できる短時間勤務制度を設けており、多くの社員に活用されています。

■ 育児休職・短時間勤務制度の取得者数推移（アルパイン単独）

	2007年度	2008年度	2009年度
育児休職	11人	20人	17人
短時間勤務	3人	10人	14人

Voice
育児休暇/
短時間勤務取得者の声

**時間を意識して
集中して仕事ができるように**

入社以来、育児休暇を2度取得しました。私の周りでも育児休暇を取る人が多く、当然のようにこの制度を利用しましたが、職場のサポートがあったからこそ1年間休職できましたし、休職後も以前のように仕事を続けることができていると感じています。また、2人目が産まれてからは短時間勤務で働いているのですが、以前よりも時間を意識して集中して仕事をするようになりました。家事や育児にも余裕ができましたし、早く帰ることで子供を通院させる時間もでき、有効に活用しています。

市販マーケティング部
利光 佐知子

従業員の健康管理

従業員の健康促進を第一に考え、保健師による健康相談の他、専門医やカウンセラーによるメンタル面のケアなど、細やかな健康サポートを行っています。

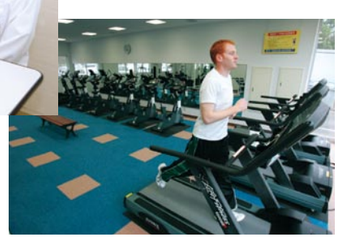
また食品メーカーや社員食堂の管理栄養士とのタイアップにより、健康管理イベントの開催やメタボリック対策メニューの考案を行い、社員を食生活面からも支援しています。

福利厚生施設として事業所内に設置されたトレーニングジムは夜間も利用可能で、多くの従業員が運動不足の解消に役立てています。

2009年度は、社内にトレーナーを招き、数ヶ月にわたって継続的運動支援を行うイベントも開催しました。

トレーナーによる運動支援イベント

保健師による面談



いわき本社内のトレーニングジム

メンタルサポートの取り組み

社会の複雑化、多様化により、業務・人間関係の悩みは誰にでも起きうるものです。アルパインでは、ストレスを貯め込んでしまう前に適切なケアをすることが大切と考え、毎週3回、専門カウンセラーによる相談窓口を設置し、様々な相談に応じています。相談することで1人で悩み込むことを防いだり、適切なアドバイスで気持ちの切り替えを促すなどの取り組みをしています。気軽に相談できるようプライバシーには十分配慮し、相談室もリラックスできる環境を整えています。

さらに管理職へはメンタル研修を実施し、メンタルサポートに対する理解を深めることにも取り組んでいます。

カウンセリング風景

価値の創造

アルパインは時代をリードする
先進技術に挑戦し、
人々に喜びをもたらす
新しい価値を創造します。

企業ビジョン

ビジョンステートメント

アルパインは、
未来価値を創造するモービルメディア・
ソリューションカンパニーを目指します。

コーポレートメッセージ

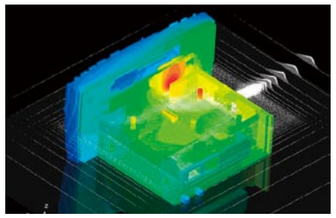
Driving Mobile Media Solutions™
モービルメディアの未来価値へ

ブランドに、クオリティへの想いをこめています。

コーポレートロゴマークにある５本線（ファイブ・ストライプス）は、
最高のクオリティへのアルパインの想いがこめられています。
世界中のステークホルダーに価値を提供し、ご満足いただくための指針となって、
アルパインのすべての事業活動に息づいています。

最高の技術

理想を追求し一切妥協を許さない強いこだわり。他社の追従を許さない圧倒的独創性。アルパインは、つねにお客様に最高の技術をお届けします。



最高の製品

圧倒的存在感で、見た瞬間、そして手にしたあとも続く感動。そして満足感。アルパインは、つねにお客様に最高の製品で深い感動をお届けします。

最高のサービス体制

「高品質」こそが、最高のサービス。アルパインは過酷な車室内環境下でも、つねに安定した性能と高い信頼性を確保し、長く愛される製品をお届けします。

最高のマーケティング

お客様の心を揺さぶる製品。ドライブの楽しさを知り尽くしたアルパインだからできる最高のマーケティングで、つねにお客様に魅力的な商品をお届けします。

最高のパートナー

お客様、お取引先、従業員、株主/投資家、地域社会など、アルパインを支えて下さる皆様と最高のパートナーシップのもと、つねにお客様に喜ばれる製品をお届けします。

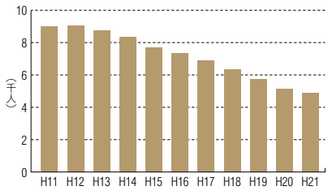
安全・安心なドライブのために（研究開発活動）

アルパインは、「安全・安心なドライブを支援したい」との思いから、
これまでに蓄積してきた様々な固有技術を結集し、
DA(Drive Assist)の研究開発、商品化に取り組んでいます。

自動車は私たちの生活にとって、便利で必要不可欠なものですが、日本政府発表の統計によると、日本の交通事故死亡者数は平成12年以降減少しているものの、現在でも年間5千人もの方が亡くなっています。

車載機器メーカーであるアルパインの願いは快適な機能を提供するだけでなく、すべてのドライバーに安全・安心をお届けすることです。視覚を必要としない機器操作や死角を減らし、危険を事前にドライバーに伝える機能の提案に取り組んでいます。

■ 日本国内の年間交通事故死亡者数



出典：政府統計の総合窓口 E-stat

アルパインが取り組む研究テーマ

■ TOPVIEW® カメラ／MULTIVIEWカメラ

上空から見ているかのような映像や、死角になりやすい部分の様子を表示。狭い場所での駐車時や周囲の安全確認に役立ちます。

■ 純正ステアリング対応リモコン

オーディオをステアリングからコントロールすることで、前方から視線を外す必要がありません。

■ 携帯電話リンク

ポケットにある携帯電話と車載機器が無線で通信し、外部の情報を入手。ドライバーに役立つ情報を提供します。

■ 音声認識

ユーザーの声でオーディオが動作しますので、ドライバーはスイッチ類を見ることなく運転に集中できます。

地域特性をとらえて

アルパインは、世界中のユーザーが求める様々な快適さや便利さに対応するために、
その地域ならではの製品を提供しています。

アルパインは、14カ国に40を超える拠点を持ち、世界中のお客様に製品を提供しています。製品は地域ごと、国ごとに異なり、製品開発においては、インフラ、文化・言語、さらには法律など、地域の特性を踏まえて、最適な価値を提案するよう努力しています。

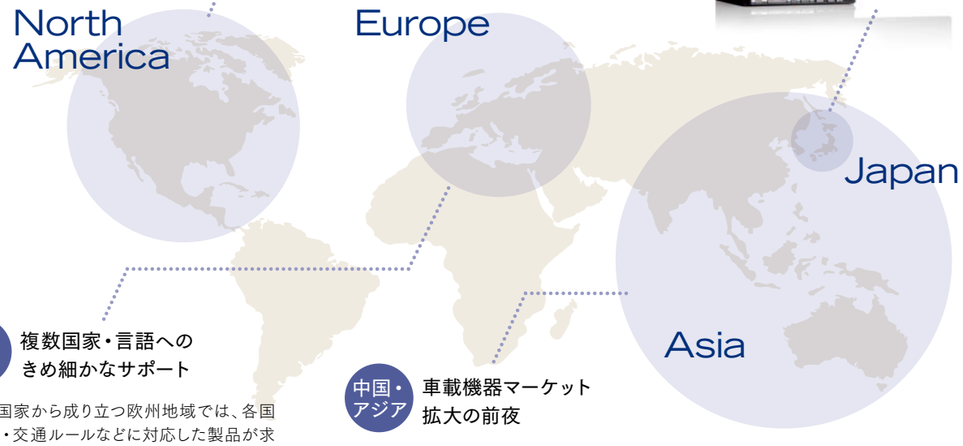
アルパインが世界中に提案している、“地域に最適な価値”をご紹介します。

米州 ITを駆使したマルチソース対応

IT先進国のアメリカでは、音楽を入手するにも多彩なメディア、ソースに溢れています。その中から好みの音楽を楽しむことができるよう、iPod®/iPhone®とのリンクはもちろん、インターネットラジオ “Pandora®” を直接操作したり、HD Radio、SiriusやXMなどの各種デジタルラジオにも対応したヘッドユニットを提案しています。

日本 高精度の道案内と違和感ない車室作り

狭い道路と交通渋滞の多い日本では、より的確で迅速な道案内が求められます。これに応え、ITSを活用し、ナビを超えた“情報ステーション”で、高精度な道案内を提供します。また、取付けの見栄えを大切にする日本の志向に合わせ、天井、ダッシュボードへの車種別取付けセットを用意し、お客様の感性に合った車室づくりを提案しています。



欧州 複数国家・言語へのきめ細かなサポート

多くの国家から成り立つ欧州地域では、各国の言語・交通ルールなどに対応した製品が求められます。アルパインのカーナビは、収録地図は43カ国分、音声ガイドは30ヶ国語に対応しています。Webサイトや取扱説明書などの多言語対応も、欧州地域ならではの特徴です。

中国・アジア 車載機器マーケット拡大の前夜

成長中の中国・アジアでは、自動車販売が好調です。しかし一般の人々にとっては自動車自体が高価なため、車載機器は普及価格帯の製品が主流です。こうした中で、アルパインは、多くの人々にカーライフを楽しんでもらえるよう、搭載する機能の絞り込みと現地主導の開発・生産で、低価格商品を提供しています。また中国向けのカーナビでは、手書き入力やピンイン入力といった独自の入力方式に対応するなど、地域に密着した商品づくりを展開しています。

お客様のために

お客様に高品位で確かな製品をお届けするとともに、
お客様との良好な関係づくりに努めています。

アルパイン品質の原点

米国市場に参入して間もない1981年、アルパインの歴史に残る重要な出来事が起こりました。

まだ品質が不安定だった当時、アルパインのカーステレオを購入されたお客様が、「大事なカセットテープが出てこない」と 腹を立て、製品を銃で撃ち抜き返品されたのです。

私たちはこの出来事を教訓に、いかなる時もお客様視点に立ち、品質第一でより良いモノづくりに努めていくことを決意しました。

この製品は、アルパインの品質に対する考え方のシンボルとして、現在もいわき本社のショールームに展示されています。

魅力ある商品・サービスの提供

お客様一人ひとりに快適なカーライフを楽しんでいただきたい。アルパインでは、お客様の声を商品開発に反映するとともに、購入ご希望のお客様にも最適な製品や取付情報をご紹介をしています。また、ご購入後も満足してご利用いただくために、お客様に応じた各種情報をご案内しています。

お客様への車種別情報ご提供例

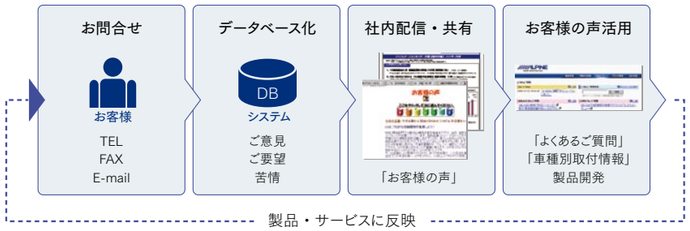
製品品質の向上にむけて

アルパインは、安全で高品質な製品をお届けするため、グローバルに品質保証体制を構築し、製品品質の向上にむけて、取り組んでいます。

業界標準の品質マネジメントシステムISO9001、ISO/TS16949の認証を全世界の工場で取得、更に米国・欧州・中国・日本に品質センターを設置し、よりお客様の近くで迅速に対応する体制を整備しています。また、製品開発においてもITを活かしたDM（デジタルマニュファクチャリング）手法の活用や、品質工学を活用した製造工程、生産ラインの自働化など、高い信頼性と品質を確保すべく取り組んでいます。

お客様相談窓口の充実

お客様相談窓口（インフォメーションセンター）には、電話、FAX、E-mailで年間4万件以上のお問合せが寄せられています。車種別のサポートやご提案など、お客様一人ひとりに、より一層満足していただける応対を心掛けています。



株主・投資家/お取引先のために

株主・投資家の皆様やお取引先から信頼される企業を目指して、
コミュニケーションの充実に努め、企業価値の拡大を図ります

IR活動の推進

株主・投資家の皆様に、アルパインの事業内容に対する理解を深めていただくため、業績や財務情報、将来の事業戦略などについて、適時・適切な情報開示に努めています。

また株主・投資家の皆様と双方向コミュニケーションを積極的に推進する一環として、年2回のアナリスト・機関投資家向け決算説明会の開催、Webサイトのリニューアル、掲載情報の充実に取組んでおります。Webサイトでは本年より決算説明会の資料も掲載するなど、会社の目指す方向と事業内容報告をより詳しくご紹介致しております。

今後も事業運営の説明責任を果たすことを第一とし、広く株主・投資家の皆様にアルパインに対するご理解を深めていただけるよう努めてまいります。

▶ 投資家情報
www.alpine.com/j/investor

アナリスト・機関投資家向け決算説明会

株主の皆様への利益還元

アルパインは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と位置づけており、連結業績をベースに「株主様への利益還元」「競争力強化のための積極的な研究開発投資や設備投資」「将来の事業成長に向けての内部留保」のバランスを考慮して利益配分を決定することを基本方針としています。

お取引先との共存・共栄へむけて

●資材調達方針

アルパインは、社会的責任の実践を目指し、以下の4つの資材調達方針を掲げ、日々の調達を行っています。

■ アルパイン資材調達方針

●お取引先向け業況報告会

相互信頼による共存・共栄を目的に、お取引先とのパートナーシップ強化に努めています。国内において年2回、中国、北米、欧州地域においてそれぞれ年1回、アルパインの業況報告会を開催し、生産・販売状況ならびに購買方針の説明を行い、相互理解を深めています。

Voice
お取引先様の声

パートナーシップを強化し更なる環境対応へ

変化の激しい市場環境下、遵法・安全・環境・社会貢献と企業への期待と責任は益々高まっております。アルパイン様におかれましても更なる環境対応・Green調達の推進、快適で安全なるTransportationの実現にご対応されておられます。当社もPartnership、Communicationを基盤にBest Solution、VA提案を継続いたします。

株式会社東芝セミコンダクター社
電子デバイス営業事業部
事業部長 **福田 敏夫**様

社会への貢献

アルパインは
品位ある商品の提供を通じ、
明日の豊かな社会作りに
貢献します。

環境方針

基本方針

私たちは地球社会の一員として、自らの責任において、「はやい」「かるい」「みえる」活動を行ない、環境対策と経営効率の両立を目指します。

行動指針

1.「はやい」ニーズへの対応
①国内外の法規はもとより、自らの責任において基準を定め、これを遵守する。
②広く社会に目を向け、環境保全に関するお客様や社会の期待を把握し、それに応える。

2.「かるい」事業活動
①軽量化、化学物質の削減、分解性の向上等により、環境や安全に配慮した製品を開発する。
②汚染予防、省資源、リサイクル、廃棄物削減等を通じ、環境負荷の軽い事業所を構築する。

3.「みえる」コミュニケーション
①環境教育を通じ全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりの自発的活動を支援する。
②環境取組みの積極的な公開に努め、社会との調和を図る。

4.環境保全体制と運用
①全社的な環境保全体制を整備し、継続的改善や技術革新を推進する。
②具体的目標を定めた計画を作成し、その達成の為に必要な経営資源を割り当てる。

環境にやさしい製品開発
～カーナビの進化をはかる～

アルパインは、エコドライブを支援する先進的なカーナビ開発に取り組みます。

カーナビによる環境負荷軽減

●エコドライブを支援するカーナビ

交通渋滞がガソリンの浪費につながることは、広く知られています。環境省によると、交通渋滞などで、アイドリングを10分間続けると、130～140CCのガソリンを消費すると報告されています。

アルパインが提供するカーナビは、渋滞を回避し、目的地に最短時間で誘導する製品です。走行ロスによる余分な燃料消費を少なくするとともに、渋滞時の長時間のアイドリング等による余分なCO_2排出量の抑制にもつながります。将来的には、社会インフラシステムとの連携により、更に高度な渋滞回避システムが研究されており、カーナビの役割は益々高まると予想されています。アルパインは、先進的なカーナビの開発を通じ、環境負荷抑制に貢献していきたいと考えています。

渋滞回避に加えて、アルパイン製品にはエコドライブを支援する多彩な機能を搭載しています。

お客様のクルマの燃費管理情報を表示する他、ドライバーのアクセルワークを診断、採点表示し、ドライバーの急な加速・減速を警告します。急な加速・減速は、燃費の悪化や地球温暖化の原因とされるCO_2の発生に大きく関わっているとされています。

アルパインは今後も、エコロジーなドライブを支援するカーナビを開発していきます。

●カーナビ自体を、よりエコロジーな商品に

車載機器において、重量の軽減、消費電力抑制は、環境負荷の軽減のために重要な課題です。たとえば、最新のカーナビでは、記録媒体をHDD方式からメモリー方式に変更、Displayは高画質を実現しつつLEDバックライト採用するなど、小型軽量化、消費電力抑制を実現しています。

■ 最新型カーナビX088シリーズ「エコガイド機能」

お客様のクルマの燃費情報

ドライバーのドライブスタイルを診断・採点するエコガイド表示

燃費（Point）	良	普通	悪
	100～81	80～21	20～0
走行区間採点時	YY良好	Y 普通	悪い

Voice 商品企画担当者の声

環境にやさしい車載機器に取り組み続けます。

お客様からも大変好評を頂いている日本国内市場向けのカーナビX08で先行採用したLEDバックライトは、水銀を使用せず消費電力も少なく環境に配慮しています。

その方式を今年より北米、欧州のカーナビにも採用、また記録媒体としても従来のHDDよりも小型軽量・省電力となるメモリー型のカーナビを米州で発売開始、欧州・日本でも今年導入していく予定です。

そのほかにも、CDプレイヤーなどのような可動メカの無い、メモリー型に特化した軽量なオーディオプレイヤーなど、今後も環境を意識した商品を企画・開発していきたいと考えています。

商品企画部
マネージャー
後藤 康之

環境にやさしい製品開発

CO_2排出抑制へ貢献するより軽い製品づくりを進めています。

小型・軽量化と出力アップを両立

車載機器の重量は、クルマの燃費に大きな影響を与えるといわれています。アルパインは、製品を小さく、軽くすることで、クルマの燃費向上に貢献できると考え、回路や製品構造はもちろんのこと、素材や部品の選定に至るまで徹底的に吟味し、軽量化を追求しています。

2009年には、アルパインブランドパワーアンプ製品の小型・軽量化と出力アップの両立を達成しました。熱源周辺の設計工夫と突起を排したシンプルなデザインにより、旧モデル比、体積約20%、重量約10%の小型・軽量化を達成する一方、約20%の出力アップも達成しました。これは出力1Wあたり約26%の軽量化に相当します。

今後もアルパインは更なる製品の小型化・軽量化にむけ、継続して開発に取り組んでいきます。

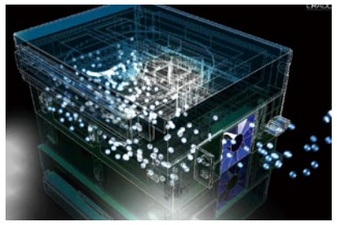
2006model PDX-1.1000
サブウーファー専用モノラルアンプ
・定格出力：1000W
・サイズ：W257,H62,D192(mm)
・重量：3.41kg

2010model PDX-M12
サブウーファー専用モノラルアンプ
・定格出力：1200W
・サイズ：W257,H50.8,D192(mm)
・重量：3.03kg

従来型　　PDX-M12

デジタルマニュファクチャリング

製品の開発にあたっては、デジタルマニュファクチャリングによるシミュレーション技術や品質工学を活用することにより、試作レスを進めています。これにより、従来廃却していた試作品を大幅に減らすことができ、廃棄物の削減を実現しています。



製品開発段階でのシミュレーション

鉛フリーはんだの採用

環境や人体への悪影響が懸念される鉛を削減するため、アルパインでは2003年に初めて鉛フリーはんだを採用した製品を発売して以来、新規に開発した製品のほぼ全てに鉛フリーはんだを採用しています。

鉛フリーはんだ工程

Voice 設計担当者の声

品位には一切妥協しないスタンスで

PDXシリーズのモデルチェンジに当たっては、アルパインブランドを代表するヒットモデルの後継ということで外観デザインの品位には一切妥協しないスタンスで臨みました。

高効率回路による出力アップと小型化された外観デザインを両立するために、熱源周辺に熱伝導の良いアルミ材を集中させ、製品側面からの直接放熱で効率を上げ、上面の肉厚を薄くできたことで、筐体の小型化を達成させました。

放熱部品で外観を構成するのは高品位デザインとは相容れない難しさがありましたが、改善を重ねて精緻を極めた外観デザインを実現することができました。

機構製品開発部
相見 悟

環境にやさしい事業運営

アルパインは、製品を開発・生産・販売する様々な過程において、
「環境へのやさしさ」を追求しています。

Made In Marketで物流量の削減

アルパインでは“Made in Market”の思想の下、「その地域で作り、販売する」を目標にしています。日本生産の完成品を輸送するのに比べ、①日本からの送付は現地調達困難な部品のみ②部品のため、輸送容量を小さくできる③現地部品は短距離輸送で済むというメリットがあります。輸送量と輸送距離を抑制することで、環境負担の小さい製品の提供に努めています。

グリーン物流の取り組み

製品や部品の輸送ルートの変更、積載率の向上や、アイドリングストップを推進することで、物流過程でのCO_2削減に努めています。一部の区間では、トラックから、より環境負荷の少ない鉄道輸送への転換を行いました。

また、従来、従業員一人ひとりが車を利用していた関連会社間の移動に、シャトルバスを導入しました。複数人が相乗りで移動するため、ガソリンの使用やそれによる排気ガスを大幅に削減しています。

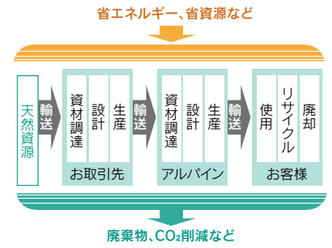
アイドリングストップ

包装の工夫による環境負荷軽減

アルパインは、梱包材の構造や材質などを工夫することで、輸送時のCO_2排出の抑制を図っています。

一部の製品に、車載機器メーカーでは初となる空気梱包を導入したり、内部の緩衝材にエアークッションを採用しました。

■ 環境に配慮した事業活動の概念



外装

改善前

改善後

内部緩衝材

改善前

改善後

Voice 環境担当者の声

環境配慮とコスト削減を両立

エアークッションは、当社が従来から採用しているダンボール緩衝材に比べ、衝撃吸収力が非常に高く、ダンボールの1/10の重量で済む上、リサイクル性にも優れた環境に優しいものです。

また、エアークッションは中に空気を入れるだけですので、梱包作業も簡単になり、使用前後は空気を抜けばスペースもとらず、在庫管理や輸送効率という点でも優れています。

関係者一丸となって、材質や形状について試行錯誤を繰り返しながら、衝撃だけでなく、輸送時の気圧や温度の変化が大きい国際輸送にも耐えうるものを実現しました。

アルパイン中国開発センター
李強（左）　**加藤幹雄**（右）

環境にやさしい事業所

アルパインは、限りある資源の有効活用や廃棄物の発生抑制、
地球温暖化の主要因の一つとされているCO_2排出量削減に努め、
環境にやさしい事業所を目指しています。

ゼロエミッションの実現

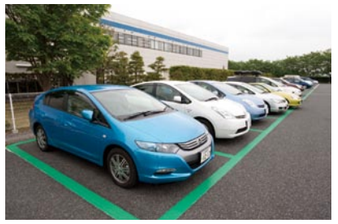
廃棄物の分別収集施設「エコステーション」を設置し、従業員一人ひとりが分別を徹底することで再資源化を進め、4事業所においてはゼロエミッションを達成しました。また、2006年から、特に廃棄物の発生抑制（リデュース）に注力し、製品や梱包材の小型・軽量化や試作品の削減などに取り組んでいます。

エコステーション

通勤車輌のCO_2削減

アルパインは、マイカー利用の通勤者が多く、車輌から出るCO_2削減にも取り組んでいます。

2008年度のエコカー優先駐車場に続き、2009年度は、社内でエコカー展示、試乗会を開催し、認識アップを図りました。エコカー通勤者が増加し、優先スペースを拡大する計画です。自転車通勤者も増加し、駐輪場を拡充しました。



エコカー優先の駐車場

クリーンエネルギーの導入

地球温暖化の主要因の一つとされているCO_2の排出量を削減するため、アルパインは、電力使用量をはじめとしたエネルギー使用量の削減に取り組むと同時にクリーンエネルギーの導入を始めました。

太陽光発電パネル

環境取り組みに対する自治体からの表彰

【日本】

アルパインは、福島県が主催する福島議定書事業に参加しています。2009年度には、オフィス部門でアルパイン技研（株）が、製造部門でアルパインテクノ（株）が、それぞれ優秀賞を受賞しました。

【海外】

アルコム・メキシコでは、環境保護への取り組みが地元政府に評価され、「環境保護に貢献した企業」として認定されました。

福島議定書表彰式

表彰状授与式

近隣地域への配慮

塗装工程で発生するVOC（揮発性有機化合物）などによる悪臭や大型プレス設備などから出る騒音の影響を軽減するため、洗浄設備の導入や防音対策に取り組んでいます。

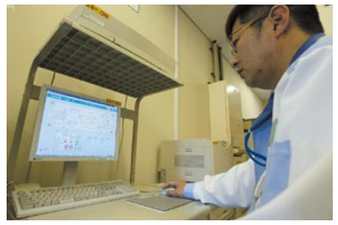
洗浄設備

プレス機の防音対策

省電力の取り組み

使用電力量やフロアの室温をリアルタイムに把握し、空調およびその他関連機器をコントロールすることで、効率的なエネルギー使用を可能にしています。

また、エアコンの効率運転のために、室外機に水を利用し、冷却効果を高める省エネ設備を設置しています。



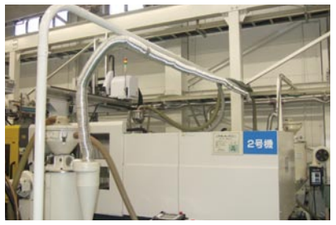
電力集中管理システム

省エネ設備

熱の再利用

生産工程から発生する熱を事務所の暖房に利用することで、冬季のエネルギー使用量を削減しています。

また、 断熱フィルムで建物の断熱能力を強化することにより、冷暖房効率を高めています。



廃熱利用設備

断熱フィルムを貼ったガラス面

詳細な環境パフォーマンスデータはこちらへ
CSR/環境 www.alpine.com/j/csr/enviro

Column

生物多様性を通して考える、アルパインの多様性

2010年4月、アルパインいわき事業所では、敷地内の身近な生物たちを知ろうと有志による「親子生き物探索会」を実施しました。

観察することができた生き物は20種程度でしたが、落ち葉の中、木の穴、雑木林、池や水溜りに、「ここにこんな生き物がいたのか」と新鮮な発見がありました。参加した子供たちは、生き物探しを十分満喫し、「また是非やりたい」と口にしていました。

2010年は国際生物多様性年に定められ、「生物多様性の保全」が広く提唱されています。「生物多様性」とは、地球上のさまざまな環境変化に対して、生態系を維持するための免疫システムです。「保全」とは、お互いを認め、必要な量だけ活用し合い、共存していくことです。

アルパインは、「生物の多様性」と「企業の多様性」と重ね合わせて、その両方を大切にしています。グローバルに文化・価値・習慣・人種が交わる自社の多様性こそが、幅広い考え、意見を生み出し、環境変化に対応する免疫力として機能すると考えるからです。

アルパインは世界中のお客様、お取引先、株主、従業員、地域社会の多様性を「保全」しながら、事業環境の変化を乗り越え、豊かな明日を提案し続けます。

親子生き物探索会の様子

地域の一員として

アルパインは、グローバル企業として、
世界各地の地域の皆様との共存を目指して、積極的に交流を深めています。

地域との対話・交流の推進

アルパインは、企業活動を支えて下さっている自治体・地域の皆様との関わりを大切にし、持続的に良好な関係を築いていくため、地域との対話や地域行事への参加、事業所でのイベント開催など、地域の皆様との交流・ふれあいを積極的に進めています。

いわき本社で開催される「夏祭り」には、グループ従業員やその家族だけでなく、地域住民の皆様にも参加いただいています。

夏祭り

地元マラソン大会への協賛

2010年2月に福島県いわき市で開催された「いわきサンシャインマラソン」に協賛し、社員約50名がボランティアスタッフとして大会運営をサポートしました。

マラソン大会でのボランティア活動

リサイクル・スピーカー作り体験教室

毎年、いわき市主催の環境展にて、使用済みペットボトルを利用したスピーカー作り体験教室を開催しています。リサイクルの大切さや、ものづくりの楽しさを伝えています。

参加した子供の様子

社会奉仕活動に対する特別休暇

アルパイン・アメリカでは、社会奉仕活動の実施を申し出た社員に対し、年1日の特別有給休暇を付与し、必要な経費を支給する制度があります。社員はこの制度を活用し、地域の児童に本を朗読したり、中学校で自らの体験談を交えた講話を行って生徒達を激励するなど、積極的に社会奉仕活動を行っています。

地域の子供達と交流する社会奉仕活動

Column

次世代を担う人材の育成支援

アルパインは、社員以外に対しても、学ぶ機会を提供しています。アメリカ現地法人では、長野県からアメリカ研修に訪れた高校生の受け入れを行いました。会社紹介や日米文化の違いについての講義等を行い、未来へ羽ばたく生徒たちに熱いエールを送りました。

また中国現地法人では、2004年より、大連地区の大学において「アルパインクラス」を開講、学生の専門技術の育成に取り組んでいます。2009年度は、大連理工大学、大連交通大学、東軟信息学院、日中友好大連人材育成センターでこのような育成クラスを開講しました。

アメリカ現地法人での高校生の受け入れ

大連地区の大学での「アルパインクラス」

アルパイン株式会社

設立年月日	1967年5月10日
資本金	259億2,059万円
社員数	10,913名（連結ベース 28社合計：2010年3月31日現在）
事業内容	車載音響機器事業、車載情報通信機器事業
株式上場	東京証券取引所市場第一部
会社が発行する株式の総数	160,000,000株
発行済株式総数	69,784,501株
本社	東　京：〒141-8501 東京都品川区西五反田1-1-8 電話：03（3494）1101（代表）　FAX：03（3494）1109 いわき：〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20-1 電話：0246（36）4111（代表）　FAX：0246（36）6898

代表取締役会長
石黒 征三

代表取締役社長
宇佐美 徹

常務取締役
梶原 仁

常務取締役
中村 一男

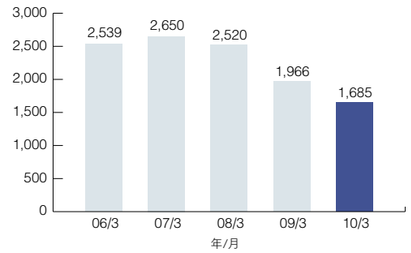
常務取締役
森岡 洋史

取締役　片岡 政隆
相馬 聡
堀 重和
小林 俊則
遠藤 浩一

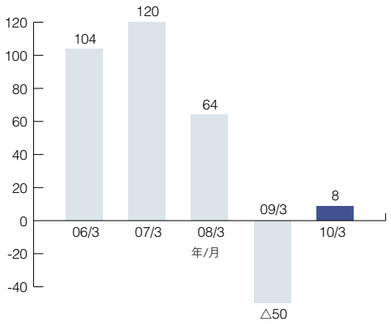
監査役　田中 統治
倉島 要
吉野 賢治
米盛 泰輔

（2010年6月24日現在）

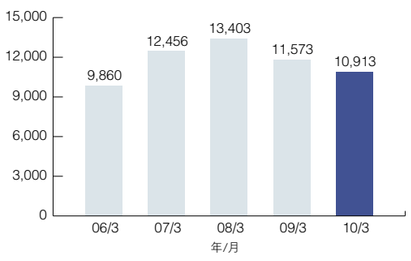
売上高（連結）
単位：億円



経常利益（連結）
単位：億円



従業員数（連結）
単位：人



アルパイン株式会社
ALPINE ELECTRONICS, INC.
www.alpine.com

ミックス品
FSC認証林および管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1545
© 1996 Forest Stewardship Council

本誌はFSC認証紙を使用しています。